

平成 30 年度 第 2 回蕨市総合教育会議

平成 31 年度
教育事業の概要（案）



平成 31 年 2 月 19 日
蕨市・蕨市教育委員会

○**蕨市教育大綱**（抜粋）

Ⅱ **蕨市の教育の目指す姿**

基本理念

生きる力を育み
ともに学び
未来を拓く蕨の教育

基本方針

- Ⅰ 確かな学力と豊かな人間性をもち
たくましく生きる子供の育成
- Ⅱ 交流の輪を広げる
生涯を通じた学びの支援

基本目標

- ① 学びあい高めあう学校教育の充実
- ② 生涯学習を支える社会教育の充実
- ③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実



学びあい高めあう学校教育の充実

1 少人数学級推進事業（35 人程度学級）

・ 予 算 額：3,270万7,000円

・ 事業概要：

国・県では、小学1・2年生において35人学級を実施しているが、蕨市では市独自に3年生から6年生においても35人程度学級を行っている。

これにより、少人数での学習指導・生活指導を行い、低学年からの円滑な引き継ぎを行うとともに、一人一人の児童へのきめ細やかな支援の充実を図る。

（担当＝学校教育課）



▲35人程度学級の実施による個に応じた指導

2 教育センターの効果的な運用

・ 予 算 額：1,550万円

・ 事業概要：

保護者や児童・生徒、教職員に対する教育相談やスクールソーシャルワーカーによる環境改善のための支援をはじめ、児童・生徒の適応指導や、日本語による会話などに困難を抱える外国人児童・生徒に対する初歩的な日本語指導を行う。

また、教職員の資質・指導力向上のためのさまざまな研修を行うとともに、学校における対応事案、配慮事案に対する支援を行う。

（担当＝学校教育課）



▲日本語特別支援教室における日本語指導

3 ALT を活用した外国語教育

- ・ 予 算 額 : 2,586万9,000円
- ・ 事業概要 :

新学習指導要領の全面実施に伴い、小学校では平成32年度から小学校5・6年生で英語が教科化となり、中学校では平成33年度から外国語の授業を英語で行うことを基本とするようになるなど、外国語教育が大きく変化する。これらの変化に対応し、外国語教育のより一層の充実を図るため、外国語指導助手の小・中学校における活用を推進する。

(担当＝学校教育課)



▲外国語指導助手を活用した外国語教育

4 学校 ICT 環境の整備

- ・ 予 算 額 : 6,280 万 7,000 円
- ・ 事業概要 :

次代を担う子供たちのための教育環境整備の一環として、小学校 7 校、中学校 1 校のパソコン教室の端末を、従来のデスクトップ型から、タブレット型パソコンにリニューアルするほか、校務用パソコン、校務支援システム等を更新する。

さらに、授業を行う教師用にも、新たに、タブレット端末を配備し、2020 年度から順次実施される新学習指導要領を見据えた、学校 ICT 環境の整備を推進する。

(担当＝教育総務課)



▲タブレット学習のイメージ

5 コミュニティ・スクールの導入（モデル地区）

- ・ 予 算 額 : 10万円
- ・ 事業概要 :

学校運営や学校の課題に対して、広く地域住民などが参画できるよう、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を段階的に導入する。平成31年度は、東小学校、塚越小学校、東中学校の3学校区を1地区としたPTAや学校応援団などの代表者等による学校運営協議会を設立する。

(担当＝学校教育課)



生涯学習を支える社会教育の充実

1 公民館エレベーター設置工事

- ・ 予 算 額：2億314万4,000円
- ・ 事業概要：

生涯学習の拠点となる公民館等の利用者の利便性を高めるため、中央公民館及び西公民館へエレベーターを設置するほか、西公民館の空調設備改修を行う。

(担当＝中央・西公民館)



◀ エレベーター設置工事を行う中央公民館（上写真）と西公民館（下写真）

2 改訂第3次蕨市生涯学習推進計画の策定

- ・ 予 算 額：38万5,000円
- ・ 事業概要：

「第2次蕨市生涯学習推進計画（平成17～26年度）」及び「改訂第2次蕨市生涯学習推進計画（平成23～26年度）」の計画期間の終了を受けて策定された「第3次蕨市生涯学習推進計画（平成27～36年度）」の策定から5年が経過し、その間の社会情勢や生涯学習の方向性等の変化に対応した「改訂第3次蕨市生涯学習推進計画」を策定する。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲第3次蕨市生涯学習推進計画(表紙)

3 わらび学校土曜塾

- ・ 予 算 額：622万9,000円（県補助金・454万円）
- ・ 事業概要：

地域及び家庭が連携・協力し、子供たちの自主学習及び体験学習等を通して学ぶ楽しさを教え、学習習慣の定着及び基礎学力の向上を図ることを目的とし、子供たちの自主学習（宿題、課題等）の支援や、体験学習等を行う。土曜日に小学校施設を使用し、運営は各小学校区に設置した実行委員会で行い、元教員や大学生、地域のかたがスタッフを務める。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲わらび学校土曜塾(写真は北小学校区)

4 音楽によるまちづくり

- ・ 予 算 額：325万円
- ・ 事業概要：

音楽を中心とした蕨市の芸術文化の振興と、その推進を図るとともに、音楽により蕨のまちの魅力を発信することで賑わいを創出し、蕨市のイメージアップを図ることを目的とする。平成31年度は「蕨市民音楽祭の開催」、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」を予定。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



◀ 15会場23ステージで開催された第4回蕨市民音楽祭



5 蕨市指定文化財「一本杉塚」の整備

- ・ 予 算 額：89万7,000円
- ・ 事業概要：

落雷の影響等で枯死した杉の倒木の危険を懸念し、鉄骨材による補強を施す等の対処をしていた。また、今後の管理について検討していたところ、一本杉塚保存会からも「一本杉塚」の整備について要請書が提出されたことから、平成31年度に一本杉や隣接する榎の伐採を行うことになった。

伐採後は、敷地内の杉を「二代目一本杉」として育成し、引き続き市指定文化財として管理していく。

(担当＝歴史民俗資料館)



◀ 向かって左側の枯れ木が一本杉、中央が榎

6 市民や社会教育関係団体・PTA等を対象とした人権講演会の開催

- ・ 予 算 額：44万5,100円
- ・ 事業概要：

さまざまな場面で、人権問題をわかりやすく、また、身近な問題として学習できる事業を展開。お互いを尊重する心を育むことで差別のない社会を実現するために、公民館等を会場として「人権尊重社会をめざす市民のつどい」等の人権講演会を行い、人権教育の推進を図っている。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲平成30年度 蕨市PTA連合会研究協議会・人権講演会・青少年健全育成をすすめる蕨市民大会(平成30年12月1日開催)



どこでもだれもが親しめる 生涯スポーツの充実

1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

- ・ 予 算 額 : 443万3,000円
- ・ 事業概要 :

毎年恒例となっている市民ロードレース大会や市民水泳大会のほか、体力テストやウォーキング大会、少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業等を実施し、健康・体力づくりに親しめる機会を提供する。また、既存事業に加えてSOMPOボールゲームフェスタin蕨を12月に開催し、小学生と保護者を対象にボールを使う運動の楽しさや技術の習得機会を提供する。



▲第59回市民ロードレース大会

(担当＝生涯学習スポーツ課)

2 スポーツ・レクリエーション関連の情報提供の充実

- ・ 予 算 額 : 330万円1,000円
- ・ 事業概要 :

スポーツ・レクリエーション関連行事の周知や活動団体、スポーツ施設の紹介など、市民のスポーツ・レクリエーション活動のきっかけづくりになるような情報提供に努め、市民のニーズに即したホームページづくりや公共スポーツ予約システムの円滑な運用に努め、スポーツ・レクリエーション推進体制の充実を図る。

(担当＝生涯学習スポーツ課)

